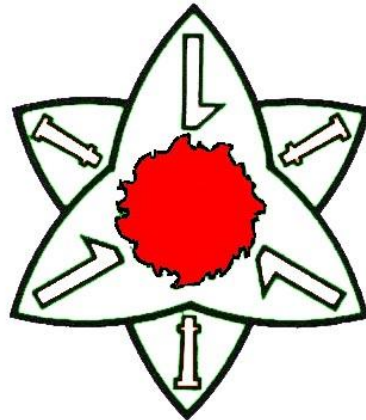


令和6年

救急・救助統計



安全と安心のまちづくり

火事と救急・救助は119番

酒田地区広域行政組合

目 次

1	はじめに	1
2	救急の概要	1
3	救急隊員が行った応急処置	1
4	救急救命士による特定行為の実施状況	1
5	応急手当普及啓発活動の状況	1
6	消防隊等による救急活動支援の状況	1
7	救助の概要	2
8	ヘリコプターの出動状況	2
9	消防救助技術指導会出場状況	2

救急資料

1	市町別の救急出動件数及び搬送人員	3
2	事故種別の救急出動件数及び対前年比	3
3	署別の救急出動件数	4
4	月別の救急出動件数及び搬送人員	4
5	曜日別の救急出動件数	5
6	覚知時刻別の救急出動件数	5
7	傷病程度別の搬送人員	6
8	年齢区分別の搬送人員	6
9	現場到着所要時間別の救急出動件数	7
10	医療機関への収容所要時間別の搬送人員	7
11	医療機関別の搬送人員	8
12	救急出動件数及び搬送人員の推移	8
13	救急隊員が行った応急処置	9
14	消防職員の救急隊員資格の取得状況	10
15	救急救命士による特定行為の実施状況	10
16	応急手当普及啓発活動の実施状況	11
17	消防隊等による救急活動支援の状況	12

救助資料

18	事故種別救助活動の状況	13
19	月別の救助出動件数及び救助人員	14
20	市町別の救助出動件数及び救助人員	14
21	曜日別救助出動の状況	15
22	救助出動のうち交通事故における要救助者の重症度の状況	15
23	組合管内へのヘリコプター出動状況	16
24	消防救助技術指導会出場状況（過去5年間）	17

1 はじめに

この統計は、令和6年中の酒田地区広域行政組合管内における救急・救助業務の実態を把握し、今後における円滑な業務の推進と救命率の向上を図るとともに、住民の皆様から御理解と御協力をいただくために作成しました。

2 救急の概要

○救急出動件数 6,192件 前年比 236件減

○搬送人員 5,715人 前年比 259人減

○1日あたりの出動件数 17.0件

○出動件数の多い種別

1 急病 4,451件

2 一般負傷 886件

3 転院搬送 371件

○出動件数減少の要因

・月別の比較では6月から9月において特に減少

いわゆる熱中症特別警戒期間（4月から10月）中の特に6月から9月で出動件数の減少がありました。

3 救急隊員が行った応急処置

○12誘導心電図伝送システムの運用状況

・心電図データ伝送回数 473回 前年比 28回減

※12誘導心電図は、傷病者の心電図を搬送先医療機関に伝送するシステムです。

治療開始時間が短縮され心筋梗塞などによる死亡率や後遺症の軽減が図られます。

4 救急救命士による特定行為の実施状況

○心肺機能停止後の特定行為

・器具を用いた気道確保 119回 前年比 41回減

・静脈路確保 110回 前年比 35回減

・薬剤投与 57回 前年比 4回減

○心肺機能停止前の特定行為

・静脈路確保 134回 前年比 19回減

・ブドウ糖投与 42回 前年比 5回増

5 応急手当普及啓発活動の状況

○実施回数 83回 前年比 20回減

○受講人数 1,702人 前年比 468人減

○ジュニア救命講習会開催（小学校高学年対象）

2回 前年比 6回減

22人 前年比 243人減

6 消防隊等による救急活動支援の状況

○出動件数 169件 前年比 184件減

※消防隊と救急隊が連携して救急活動を行うことをPA連携といいます。

ポンプ車（Pumper）と救急車（Ambulance）の双方の頭文字「PA」から名前を付けたものです。

7 救助の概要

○救助出動件数 56件 前年比 14件減

○救助人員 113人 前年比 61人増

○出動件数の多い種別

1 交通事故 22件

2 建物等による事故 8件

3 水難事故 7件

3 山岳事故 7件

8 ヘリコプターの出動状況

○ドクターヘリコプター

・出動件数 4件 前年比 10件減

・搬送人員 3人 前年比 3人減

○防災ヘリコプター

・出動件数 10件 前年比 増減なし

・搬送人員 8人 前年比 2人増

○その他のヘリコプター（警察、海上保安庁、自衛隊）

・出動件数 1件 前年比 1件減

・搬送人員 1人 前年比 増減なし

9 消防救助技術指導会出場状況

○山形県消防救助技術指導会（山形市消防本部）

・ほふく救出 入賞

・ロープブリッジ救出 入賞

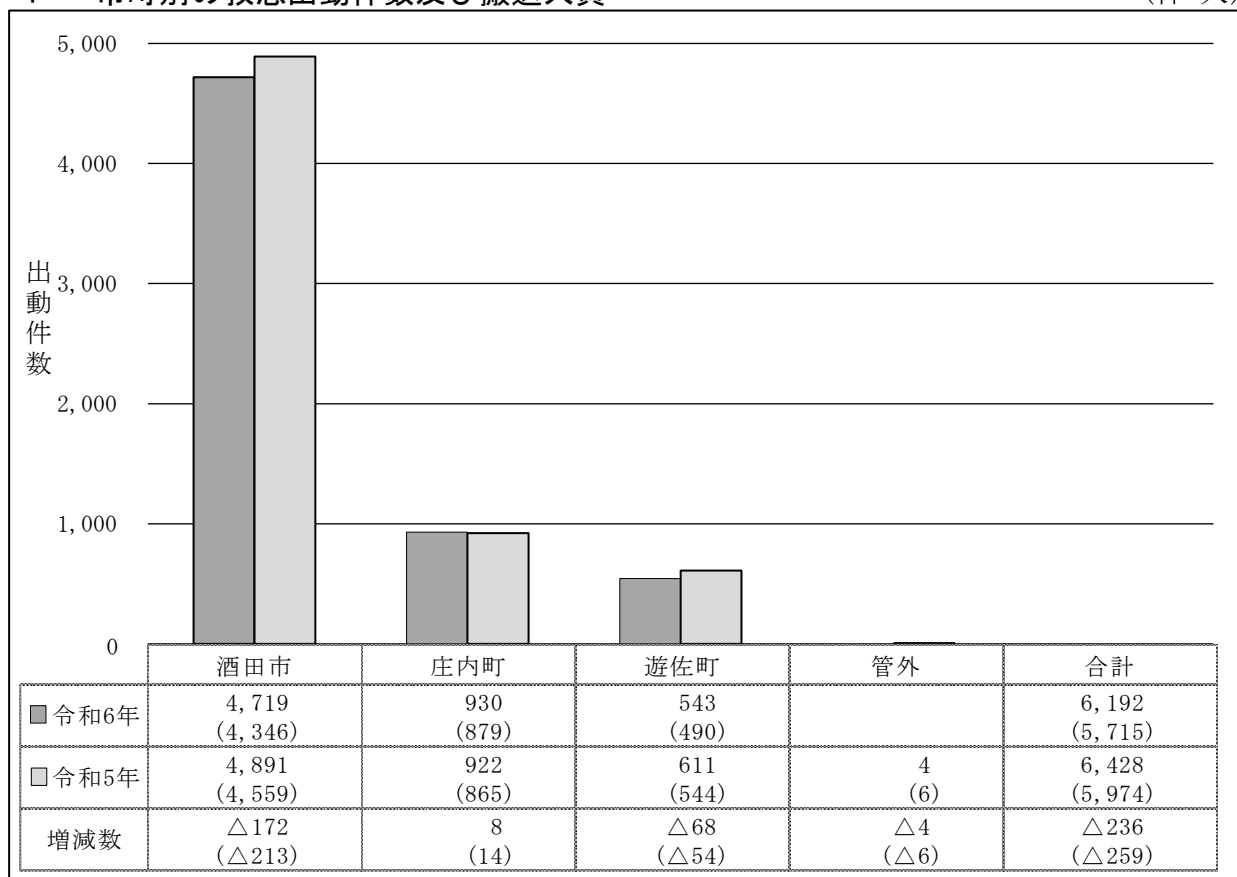
・ロープ応用登はん 入賞

○東北地区支部消防救助技術指導会

※東北地区の大雨の影響による災害対応のため中止

1 市町別の救急出動件数及び搬送人員

(件・人)



※ () 内は搬送人員です。

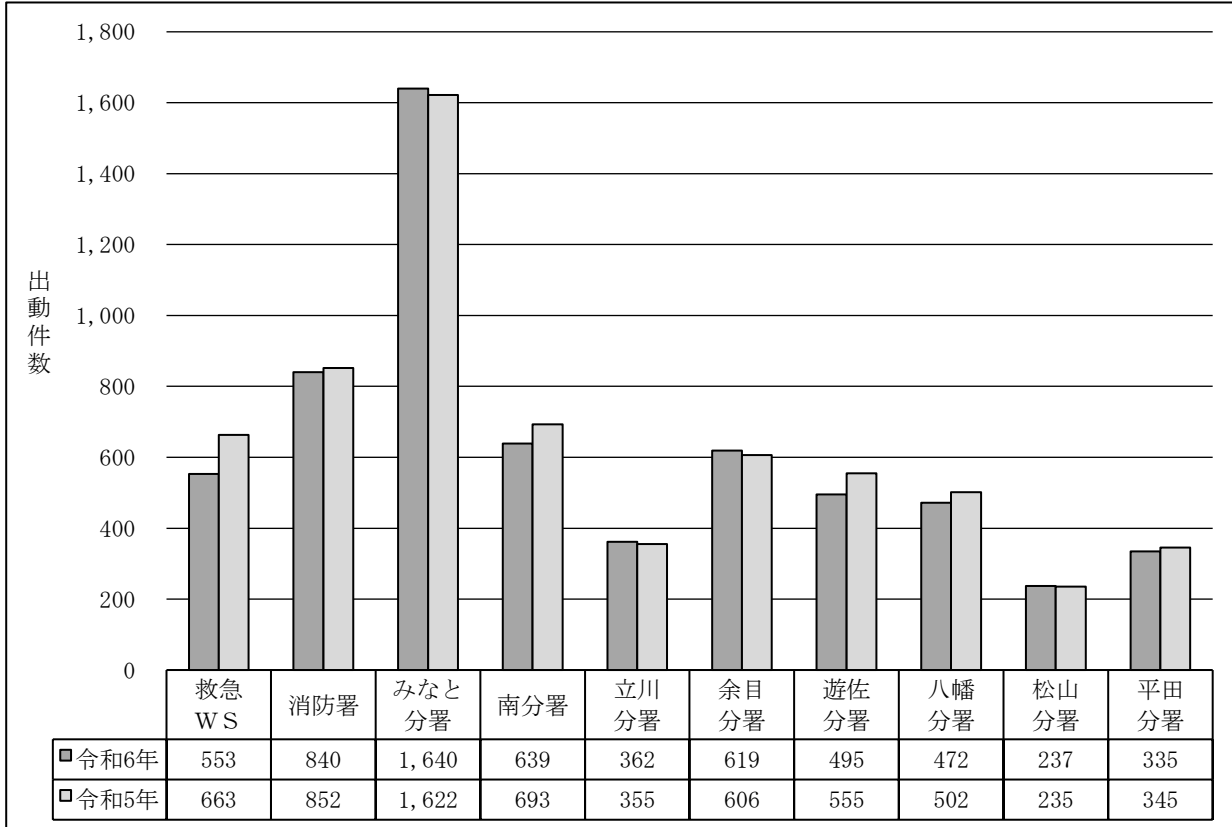
2 事故種別の救急出動件数及び対前年比

(件・人)

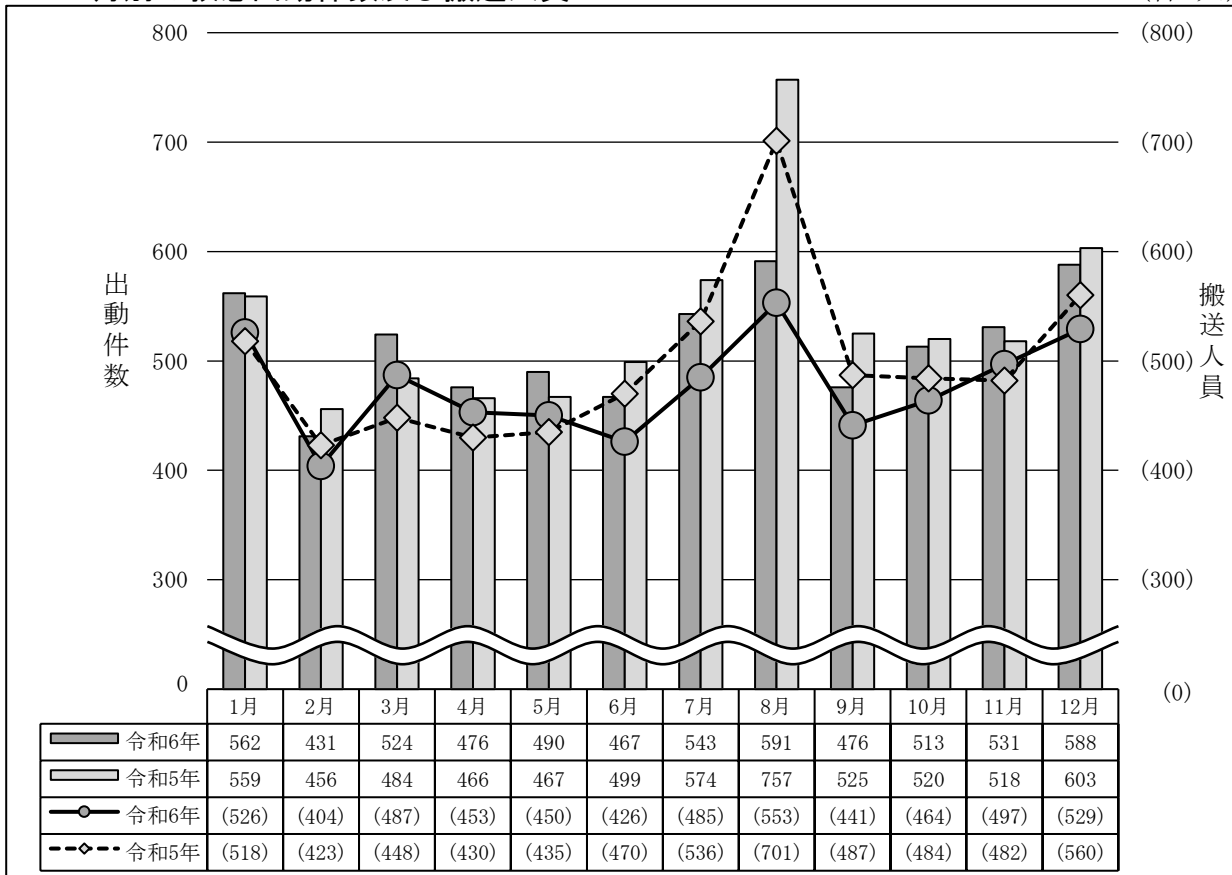
区分 事故種別	令和6年		令和5年		対前年比	
	出動件数	構成比 (%)	出動件数	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)
火 災	27 (6)	0.4 (0.1)	23 (4)	0.4 (0.1)	4 (2)	17.4 (50.0)
自然災害						
水 難	6 (3)	0.1 (0.1)	13 (5)	0.2 (0.1)	△7 (△2)	△53.8 (△40.0)
交通事故	239 (227)	3.8 (4.0)	209 (201)	3.2 (3.4)	30 (26)	14.4 (12.9)
労働災害	42 (42)	0.7 (0.7)	40 (39)	0.6 (0.6)	2 (3)	5.0 (7.7)
運動競技	36 (35)	0.6 (0.6)	32 (31)	0.5 (0.5)	4 (4)	12.5 (12.9)
一般負傷	886 (838)	14.3 (14.7)	879 (837)	13.7 (14.0)	7 (1)	0.8 (0.1)
加 害	9 (8)	0.1 (0.1)	5 (5)	0.1 (0.1)	4 (3)	80.0 (60.0)
自損行為	45 (29)	0.7 (0.5)	47 (31)	0.7 (0.5)	△2 (△2)	△4.3 (△6.5)
急 病	4,451 (4,149)	71.9 (72.6)	4,691 (4,413)	73.0 (73.9)	△240 (△264)	△5.1 (△6.0)
転院搬送	371 (371)	6.0 (6.5)	397 (395)	6.2 (6.6)	△26 (△24)	△6.5 (△6.1)
医師搬送	1	0.1	12	0.2	△11	△91.7
資器材輸送						
その他	79 (7)	1.3 (0.1)	80 (13)	1.2 (0.2)	△1 (△6)	△1.3 (△46.2)
合 計	6,192 (5,715)	100.0 (100.0)	6,428 (5,974)	100.0 (100.0)	△236 (△259)	△3.7 (△4.3)

※ () 内は搬送人員です。

3 署別の救急出動件数 (件)



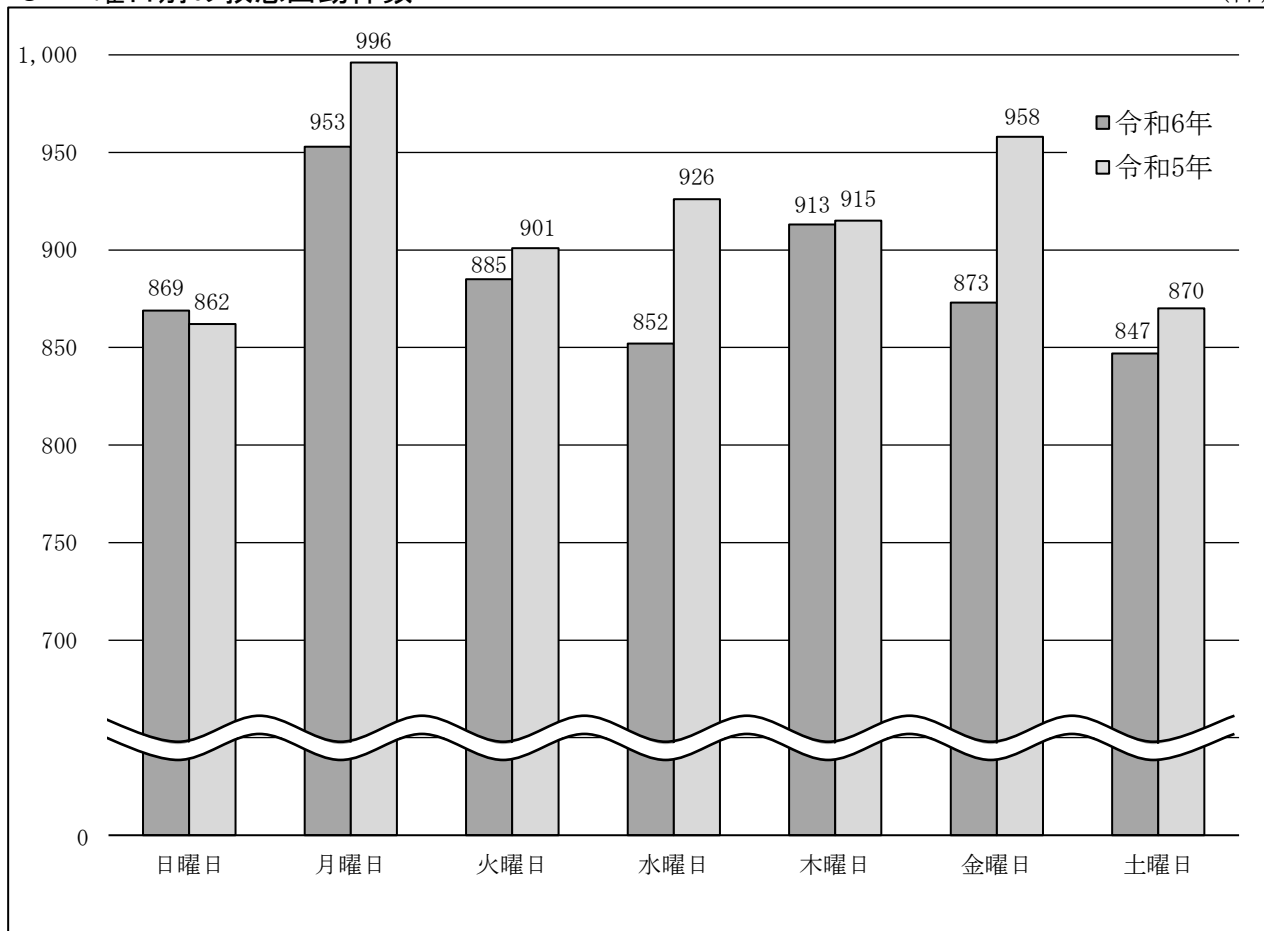
4 月別の救急出動件数及び搬送人員 (件・人)



※凡例：棒グラフは出動件数、折れ線グラフは搬送人員を示します。

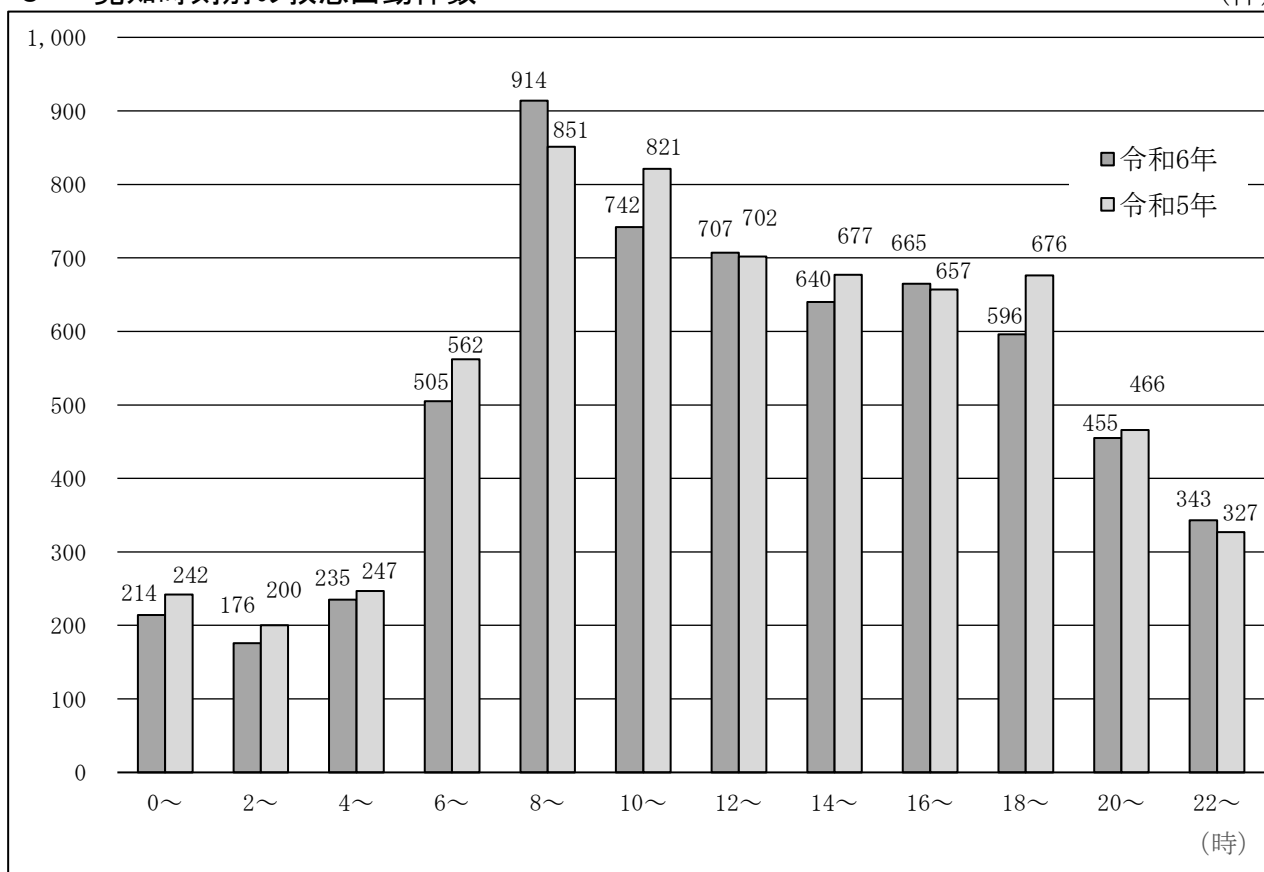
5 曜日別の救急出動件数

(件)



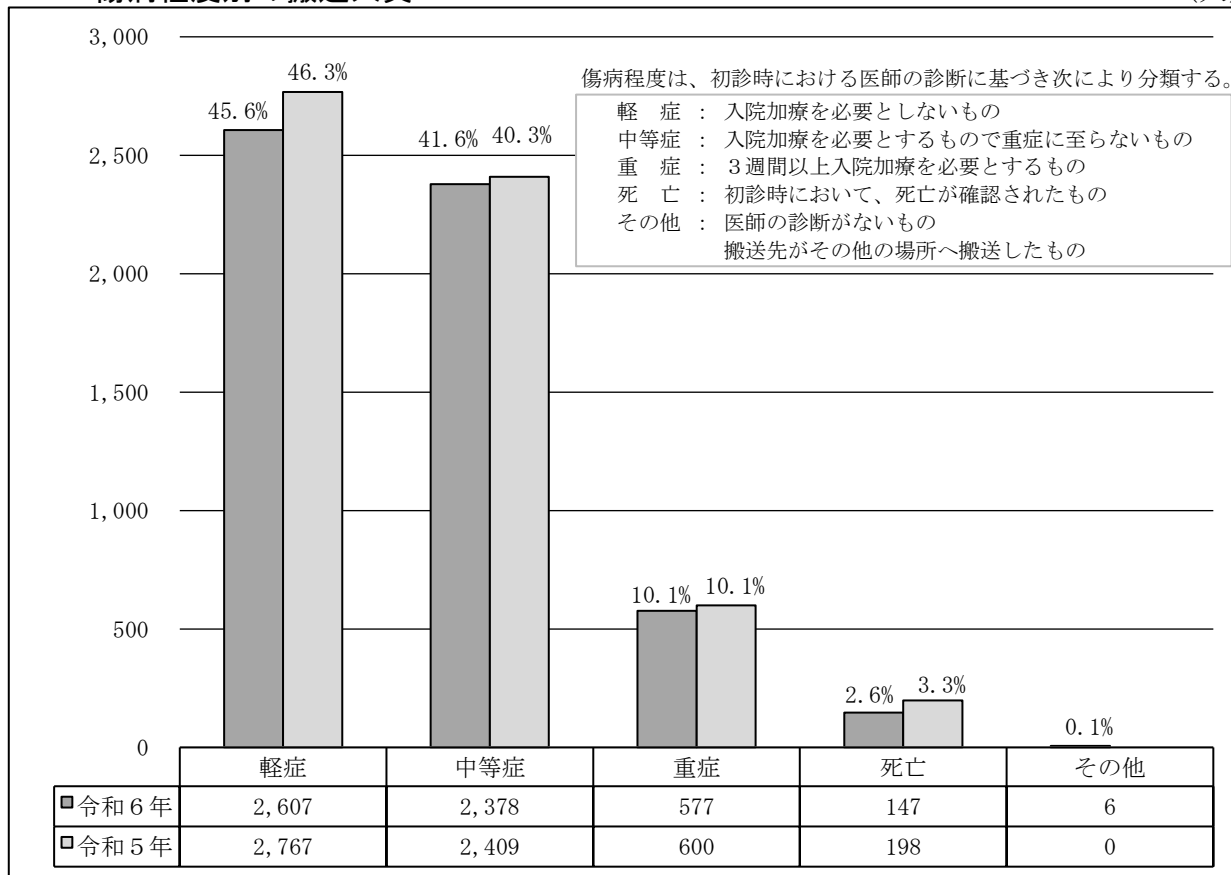
6 覚知時刻別の救急出動件数

(件)



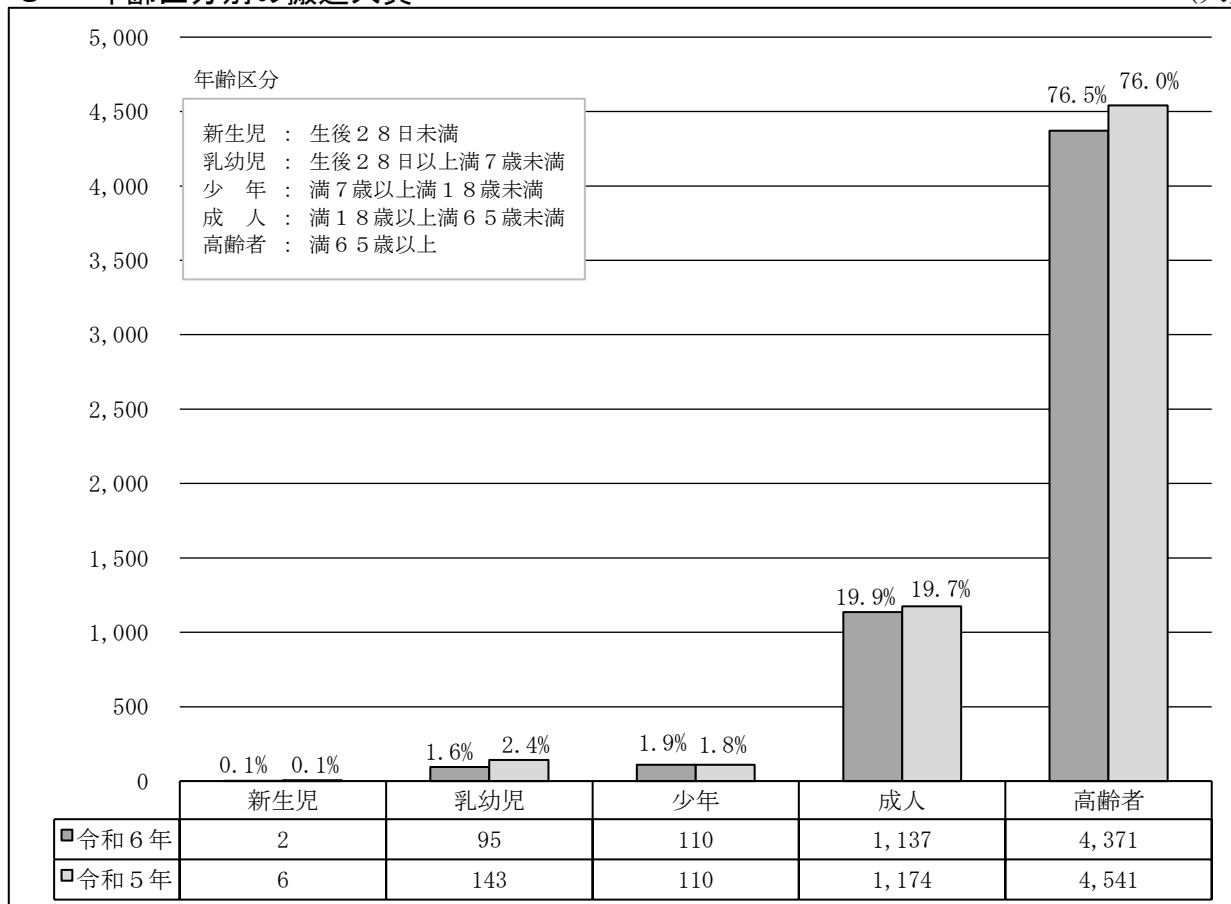
7 傷病程度別の搬送人員

(人)

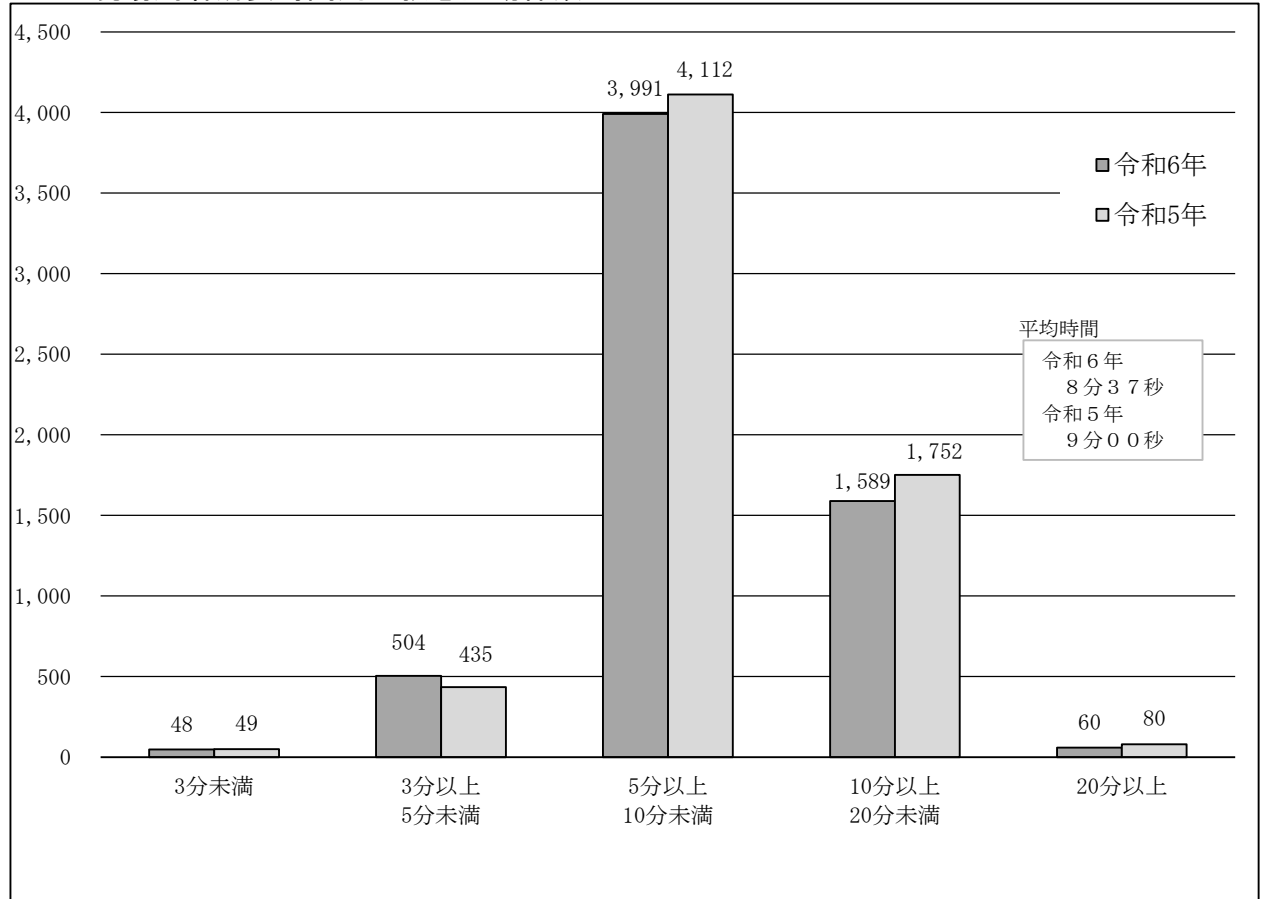


8 年齢区分別の搬送人員

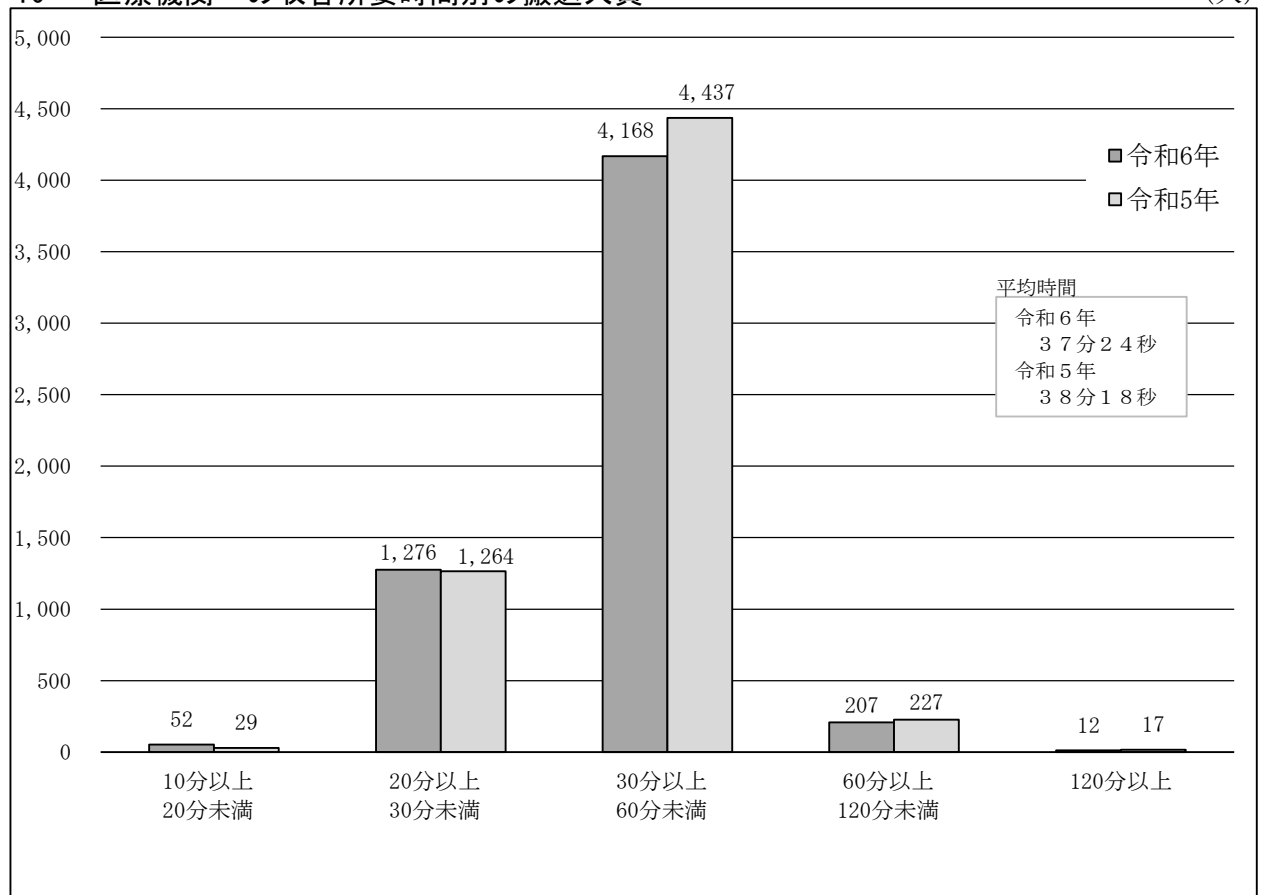
(人)



9 現場到着所要時間別の救急出動件数 (件)

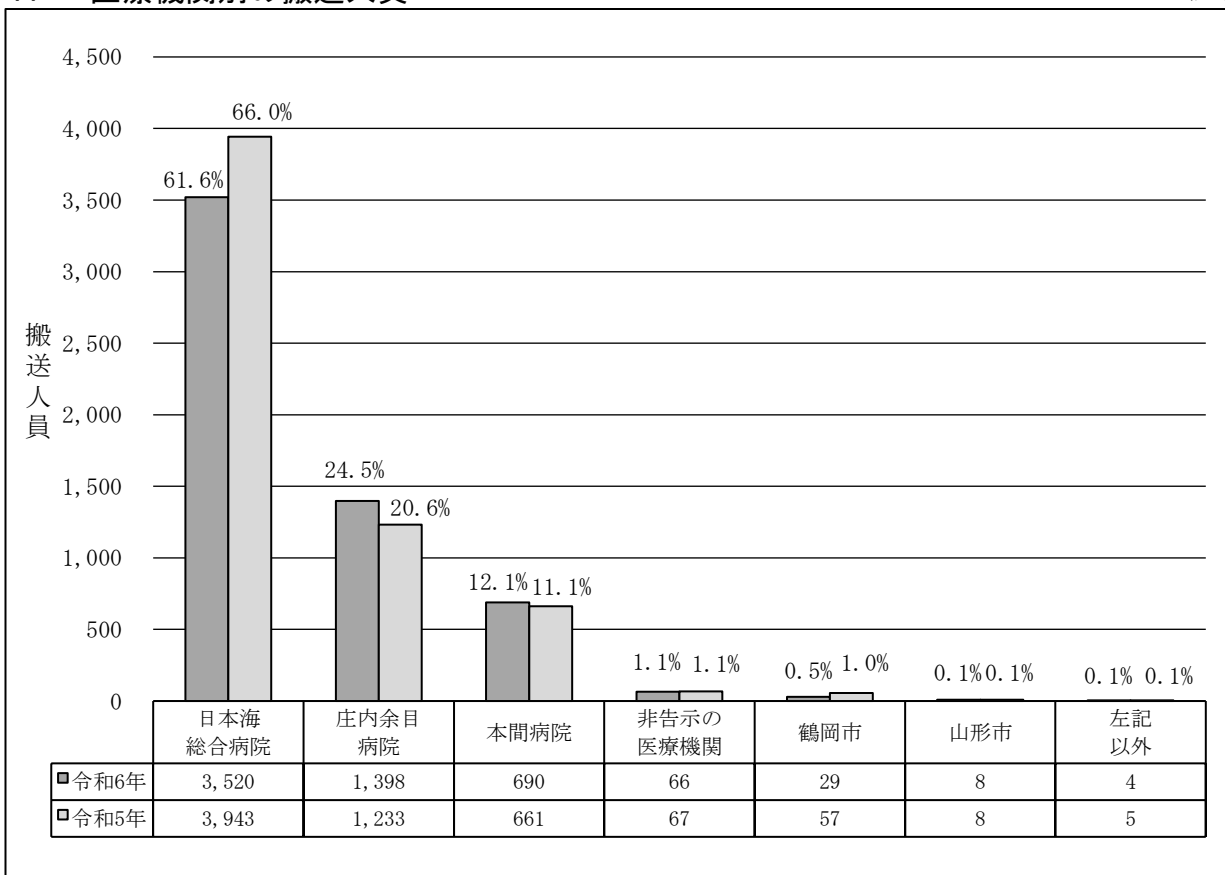


10 医療機関への収容所要時間別の搬送人員 (人)



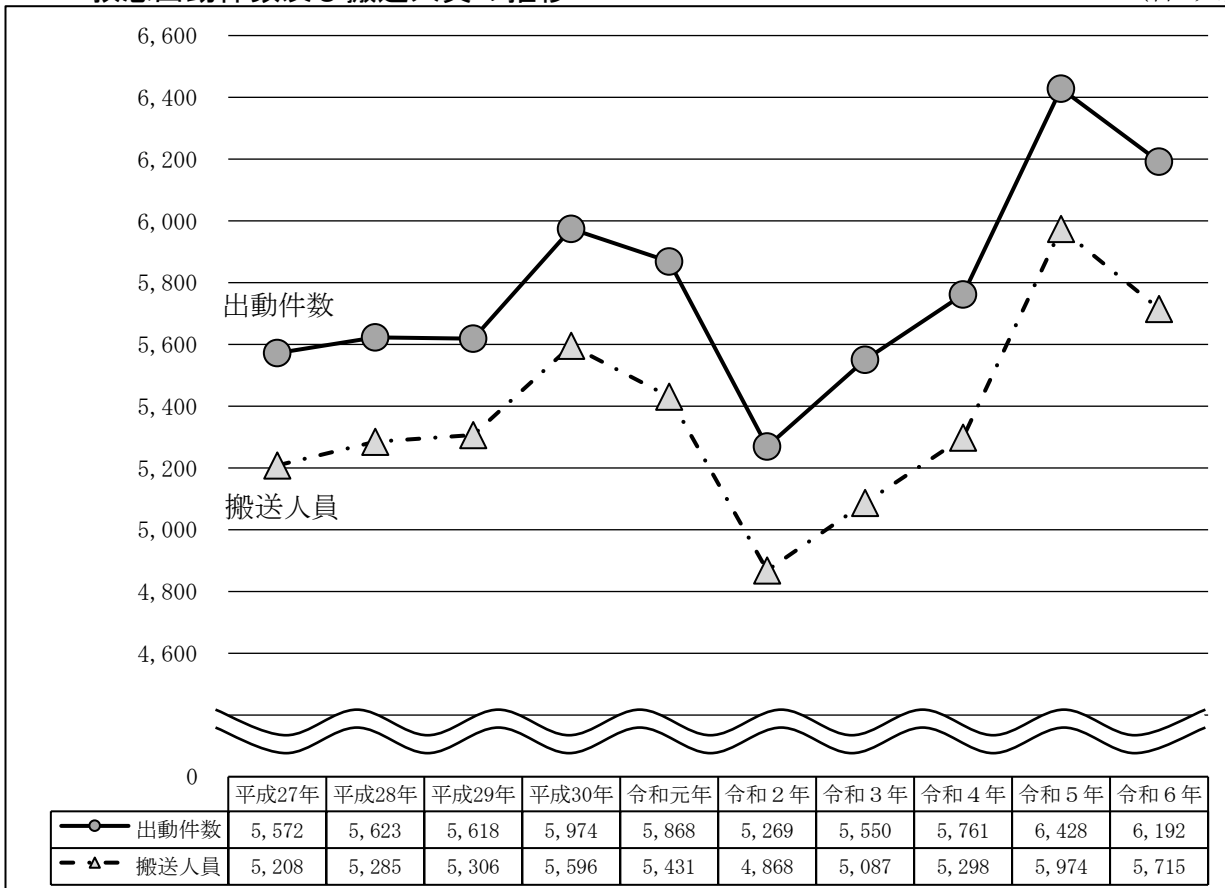
11 医療機関別の搬送人員

(人)



12 救急出動件数及び搬送人員の推移

(件・人)



13 救急隊員が行った応急処置

(回)

年別 種別 処置項目	令和6年					令和5年					増減
	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	
止血	13	16	80	20	129	19	8	76	12	115	14
固定	17	59	96	19	191	19	54	96	22	191	
心肺蘇生	147	1	11	10	169	178	1	32	12	223	△54
うち自動											
人工呼吸のみ						1				1	△1
胸骨圧迫											
うち自動											
酸素吸入	1,040	16	40	113	1,209	1,219	17	72	133	1,441	△232
気道確保	323	1	21	20	365	518	4	63	33	618	△253
うち※1	1				1	1		1	1	3	△2
うち※2	3		2		5	2		4		6	△1
うち※3	104	1	5	3	113	130	1	19	7	157	△44
うち※4	3		3		6	2		1		3	3
保温	1,107	49	214	148	1,518	1,279	51	221	183	1,734	△216
被覆	10	32	140	24	206	16	31	140	20	207	△1
在宅療法継続	34		1	1	36	36		2	1	39	△3
うち※A	4				4	3				3	1
うち※B	5				5	1				1	4
うち※C	25		1	1	27	32		2	1	35	△8
除細動	16	1		1	18	9			1	10	8
静脈路確保	219	5	14	6	244	258	3	21	16	298	△54
心肺停止前	122	4	6	2	134	141	3	3	6	153	△19
心肺停止後	97	1	8	4	110	117		18	10	145	△35
薬剤投与	47	1	6	3	57	50		10	1	61	△4
血糖測定	908	6	48	24	986	711	1	25	22	759	227
ブドウ糖投与	41		1		42	37				37	5
エピペン投与											
血圧測定	3,966	224	818	484	5,492	4,208	203	793	491	5,695	△203
心音呼吸音聴取	1,640	81	99	127	1,947	1,749	77	130	133	2,089	△142
血中酸素飽和度測定	3,976	224	820	491	5,511	4,280	201	807	500	5,788	△277
心電図測定	3,102	67	223	256	3,648	2,910	69	199	221	3,399	249
12誘導心電図伝送	406	3	8	56	473	462		5	34	501	△28
その他の応急処置	3,627	201	745	431	5,004	3,857	177	733	453	5,220	△216
計	20,639	987	3,385	2,234	27,245	21,816	897	3,425	2,288	28,426	△1,181

※気道確保：※1 経鼻エアウェイ ※2 喉頭鏡・鉗子による異物除去 ※3 LT等処置 ※4 気管挿管処置
 ※在宅療法継続：※A 点滴処置が施された者 ※B 気管切開、人工肛門等の外瘻が施された者 ※C A・B以外の者
 ※1人につき複数の応急処置を行うこともあるため、搬送人員と処置項目の計の数とは一致しない場合もあります。
 ※本表は、不搬送事案における現場での応急処置の件数も計上しています。

14 消防職員の救急隊員資格の取得状況

(人)

資格別 年別	合 計	救急救命士	救急科 (旧救急標準課程含)	旧救急Ⅱ課程	旧救急Ⅰ課程
令和2年	207	48	142	16	1
令和3年	211	49	152	10	
令和4年	206	49	147	10	
令和5年	201	48	144	9	
令和6年	201	51	142	8	

15 救急救命士による特定行為の実施状況

(人)

区分 年別	心肺蘇生法 実施人数	除細動 実施人数	薬剤投与 アドレナリン 実施人数 ①	気道確保 実施人数 ②		静脈路確保 実施人数 ③	心肺機能 停止後 特定行為 処置人数 ①+②+③	心肺機能停止前				特定行為 延べ人数 ①+②+③ +④+⑤
				うち 気管挿管	静脈路確保及び輸液 実施人数 ④			うち ショック 症例	うち 低血糖 症例	ブドウ糖 投与 実施人数 ⑤		
令和２年	191	22	47	126	1	104	277	119	92	27	27	423
令和３年	195	13	40	152	1	111	303	110	88	22	22	435
令和４年	207	20	55	163	4	123	341	74	41	33	33	448
令和５年	224	10	61	160	3	145	366	153	115	38	37	556
令和６年	169	18	57	119	6	110	286	134	91	43	42	462

※心肺蘇生法実施人数とは、救急隊が心肺蘇生又は胸骨圧迫のみ、人工呼吸のみのうちいずれかを実施して搬送した人数です。

16 応急手当普及啓発活動の実施状況

(件・人)

月別	区分	救命入門コース	普通救命講習Ⅰ	うちeラーニング	普通救命講習Ⅱ	うちeラーニング	普通救命講習Ⅲ	うちeラーニング	上級救命講習	普及員講習	指導員講習	普及員再講習	指導員再講習	ジュニア救命講習	計
1月	回数	1	6												7
	人数	31	228												259
2月	回数	3	4						1		1				9
	人数	80	87						8		4				179
3月	回数	1	1												2
	人数	91	22												113
4月	回数	1													1
	人数	34													34
5月	回数	1	2												3
	人数	15	36												51
6月	回数	17	2	2			4	2						1	24
	人数	322	36	36			39	21						17	414
7月	回数	3	2											1	6
	人数	30	47											5	82
8月	回数	2	1	1											3
	人数	42	18	18											60
9月	回数	4	1												5
	人数	102	6												108
10月	回数	5	1	1											6
	人数	78	8	8											86
11月	回数	5	3												8
	人数	115	52												167
12月	回数	2	7	4											9
	人数	58	91	47											149
令和6年	回数	45	30	8			4	2	1		1			2	83
	人数	998	631	109			39	21	8		4			22	1,702
令和5年	回数	37	47	18	1	1	7	4	1		1	1		8	103
	人数	822	955	330	10	10	102	47	10		4	2		265	2,170
増減	回数	8	△17	△10	△1	△1	△3	△2				△1		△6	△20
	人数	176	△324	△221	△10	△10	△63	△26	△2			△2		△243	△468

※ 救命入門コース（90分）：住民に対する応急手当の導入講習です。

普通救命講習Ⅰ（3時間）：住民に対する標準的な講習です。（主に成人に対する心肺蘇生法）

普通救命講習Ⅰ（2時間）：住民に対する標準的な講習で、事前にWEB講習を修了された方が対象の講習です。

普通救命講習Ⅱ（4時間）：住民に対する標準的な講習です。（AEDの一定頻度使用者が対象の心肺蘇生法）

普通救命講習Ⅲ（3時間）：住民に対する標準的な講習です。（主に小児・乳児・新生児に対する心肺蘇生法）

e - ラーニング：事前にWEB講習を修了された方が対象で、講習時間が1時間短縮される講習です。

上級救命講習（8時間）：普通救命講習より高度な講習です。

普及員講習（24時間）：主として事業所又は防災組織等において、当該事業所の従業員又は防災組織等の構成員に対し、普通救命講習の指導に従事する者の講習です。

指導員講習（8時間）：当広域行政組合の行う上記の講習会の指導に従事する者の講習です。

17 消防隊等による救急活動支援の状況

(1) 月別

(件)

(2) 署別

(件)

月別	年別	種別						合計
		C P A	交 通	高 エ ネ ル ギ ー	多 層 階	へ リ 支 援	そ の 他	
1	令和6年	12	1	2	6		12	33
	令和5年	11	2	1	2		12	28
2	令和6年	13	1		3	1	13	31
	令和5年	18	1	1	4	1	15	40
3	令和6年	11	2	1	4		12	30
	令和5年	9	2		7	1	8	27
4	令和6年				1	1	11	13
	令和5年	9			1	1	8	19
5	令和6年	4			1		6	11
	令和5年	3	1		1		17	22
6	令和6年	3				1	2	6
	令和5年	9	1	2	1	1	12	26
7	令和6年		1	1	2	1	4	9
	令和5年	5			6	1	18	30
8	令和6年	2		1		2	5	10
	令和5年	8			2	1	27	38
9	令和6年	2		1				3
	令和5年	5	1		2	1	8	17
10	令和6年					1	4	5
	令和5年	18	1	1	2		12	34
11	令和6年	1	1				3	5
	令和5年	9	3		4	1	11	28
12	令和6年	2			2		9	13
	令和5年	16	2	2	6	1	17	44
令和6年計		50	6	6	19	7	81	169
令和5年計		120	14	7	38	9	165	353
増 減		△70	△8	△1	△19	△2	△84	△184

※救急活動支援（P A連携）とは、消防隊や救助隊が現場に出動し、救急隊の処置や搬送等を支援したり、交通事故現場において、救急隊の安全確保のための支援活動のことです。

※その他とは、搬送困難、加害、傷病者多数などの支援活動のことです。

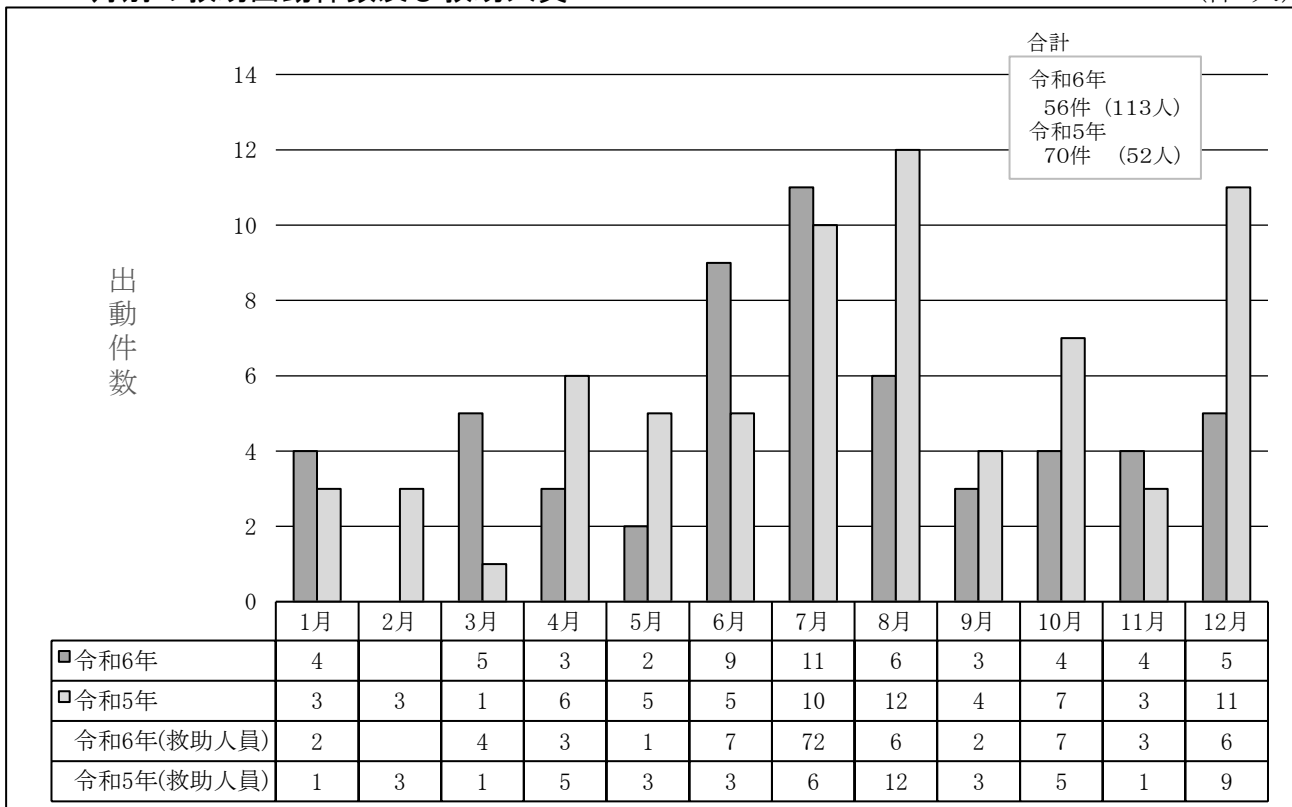
18 事故種別救助活動の状況

(件・人)

年 別 区 分 事 故 種 別 (件・人)		令 和 6 年			令 和 5 年		
		出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員
火 災	建 物	2	2	2	2	2	1
	建 物 以 外						
交 通 事 故		22	15	19	22	11	13
水 難 事 故		7	6	9	11	8	8
風 水 害 等 自 然 災 害		4	4	66			
機 械 に よ る 事 故					1	1	1
建 物 等 に よ る 事 故		8	7	6	9	7	7
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故					2	2	2
破 裂 事 故							
そ の 他 の 事 故	山 岳 事 故	7	7	7	11	11	11
	そ の 他	6	3	4	12	9	9
合 計		56	44	113	70	51	52

19 月別の救助出動件数及び救助人員

(件・人)



20 市町別の救助出動件数及び救助人員

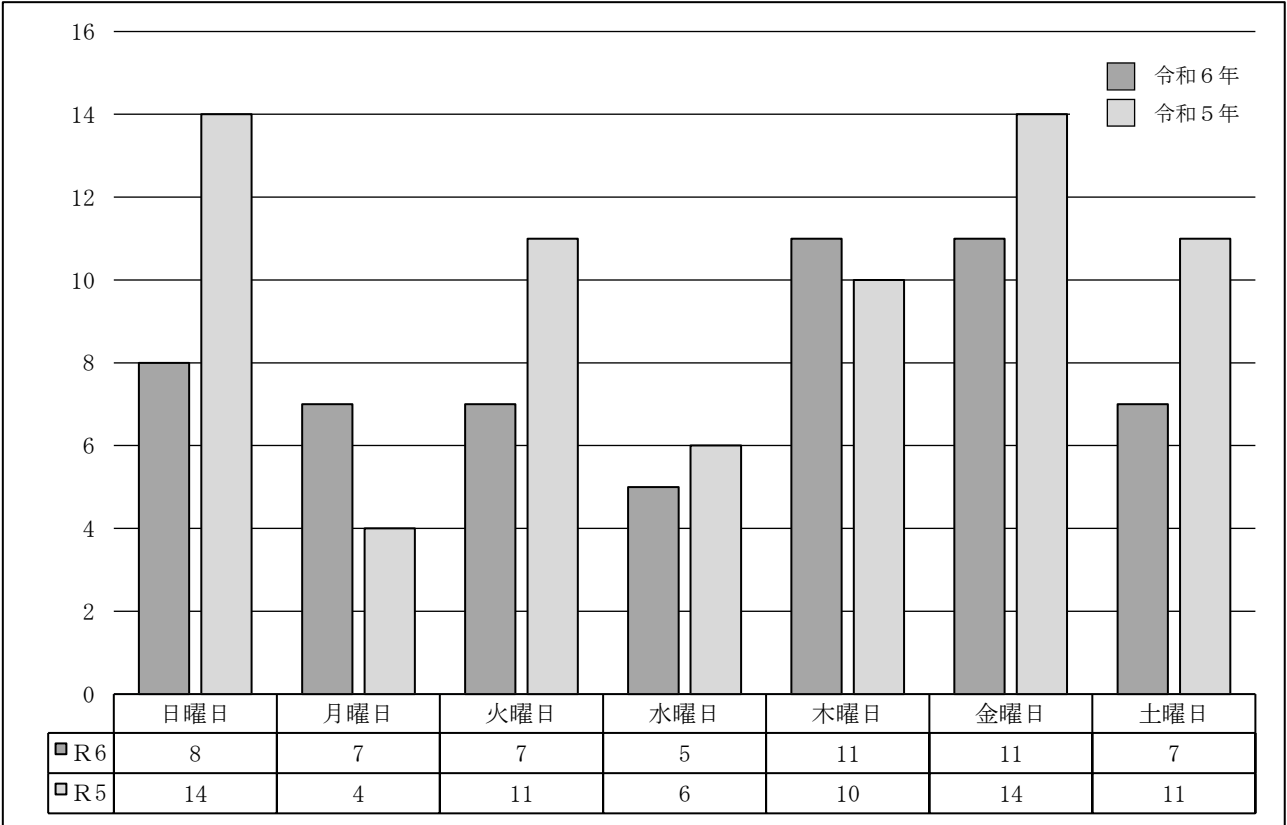
(件・人)

市 町 別	年 別	救 助 事 故 種 別										合 計	
		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自風 然水 災害 害等	事機 械 に よ る	事建 物 等 に よ る	酸ガ 欠ス 事及 る	破 裂 事 故	その他の事故		
		建 物	以建 外物								事山 故岳		そ の 他
酒 田 市	令和 6年	1 (1)		16 (15)	7 (9)	2 (48)		8 (6)			2 (2)	6 (4)	42 (85)
	令和 5年	2 (1)		15 (9)	9 (7)		1 (1)	9 (7)	1 (1)		1 (1)	7 (5)	45 (32)
庄 内 町	令和 6年	1 (1)		5 (4)		1 (1)					1 (1)		8 (7)
	令和 5年			3 (1)					1 (1)			2 (1)	6 (3)
遊 佐 町	令和 6年			1		1 (17)					4 (4)		6 (21)
	令和 5年			4 (3)	2 (1)						10 (10)	3 (3)	19 (17)
管 外	令和 6年												
	令和 5年												
令和6年計		2 (2)		22 (19)	7 (9)	4 (66)		8 (6)			7 (7)	6 (4)	56 (113)
令和5年計		2 (1)		22 (13)	11 (8)		1 (1)	9 (7)	2 (2)		11 (11)	12 (9)	70 (52)
増 減		(1)		(6)	△4 (1)	4 (66)	△1 (△1)	△1 (△1)	△2 (△2)		△4 (△4)	△6 (△5)	△14 (61)

※ ()内は救助人員です。

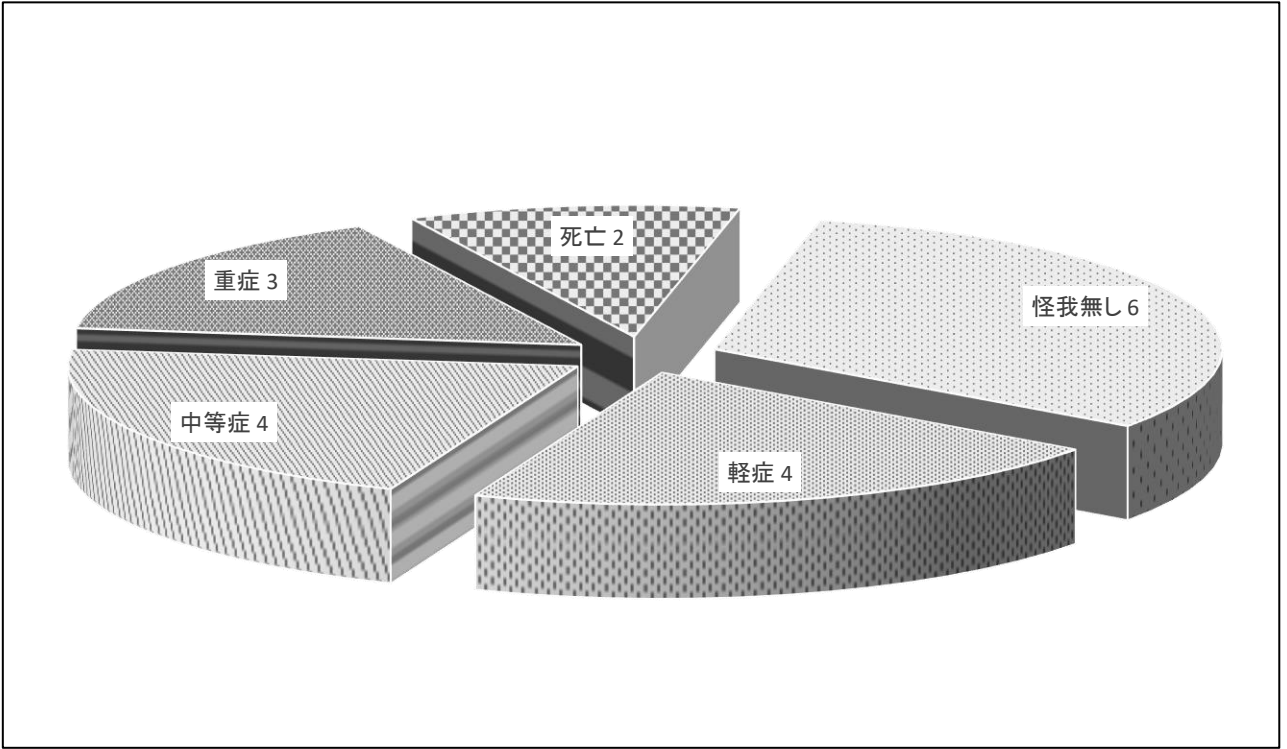
21 曜日別救助出動の状況

(件)



22 救助出動のうち交通事故における要救助者の重症度の状況

(人)



23 組合管内へのヘリコプター出動状況

(件・人)

ヘリコプター 種別		年別	出 動 区 分					計	搬送人員	
			救急	救助	山岳救助	山岳搜索	水難救助			その他
山形県消防防災 ヘリコプター		令和 6年			4			2	6	4
		令和 5年			6				6	5
他県の防災 ヘリコプター		令和 6年			4				4	4
		令和 5年		1	2			1	4	1
山形県ドクター ヘリコプター		令和 6年	4						4	3
		令和 5年	14						14	6
他県のドクター ヘリコプター		令和 6年								
		令和 5年								
他 機 関	山形県警 ヘリコプター	令和 6年								
		令和 5年			1				1	1
	海上保安庁 ヘリコプター	令和 6年	1						1	1
		令和 5年					1		1	
	自衛隊 ヘリコプター	令和 6年								
		令和 5年								
令和6年計			5		8			2	15	12
令和5年計			14	1	9		1	1	26	13
増 減			△9	△1	△1		△1	1	△11	△1

24 消防救助技術指導会出場状況（過去5年間）

山形県消防救助技術指導会

回数	実施年月日	出 場 種 目	成 績
32	R2.6.10	開 催 中 止 ※新型コロナウイルス感染症のため	
32	R3.6.9	引 揚 救 助 ロープブリッジ救出 ※新型コロナウイルス 感染症に伴う縮小開催	
33	R4.6.29	引 揚 救 助 ほ ふ く 救 出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過 は し ご 登 は ん ロープ応用登はん	入 賞 入 賞
34	R5.6.28	引 揚 救 助 ほ ふ く 救 出 ロープブリッジ救出 は し ご 登 は ん ロープ応用登はん	入 賞 入 賞 入 賞 入 賞
35	R6.6.27	引 揚 救 助 ほ ふ く 救 出 ロープブリッジ救出 は し ご 登 は ん ロープ応用登はん	入 賞 入 賞 入 賞

東北地区支部消防救助技術指導会

回数	実施年月日	出 場 種 目	成 績
49	R2.7.9	開 催 中 止 ※新型コロナウイルス感染症のため	
49	R3.7.8	開 催 中 止 ※新型コロナウイルス感染症のため	
50	R4.7.27	引 揚 救 助 ロープブリッジ救出	入 賞
51	R5.7.26	引 揚 救 助 ロープブリッジ救出	
52	R6.7.27	開 催 中 止 ※東北地区の大雨の影響による 災害対応優先のため	

全国消防救助技術大会

回数	実施年月日	出 場 種 目	成 績
51	R5.8.25	ロープ応用登はん	入 賞

新型コロナウイルス対応
心肺蘇生法 紹介動画は
こちら！



救命の連鎖



心停止の予防

早期認識と通報

一次救命処置
(心肺蘇生と AED)

二次救命処置と
集中治療